

CASBEE神戸ver.3

■使用評価マニュアル: CASBEE神戸ver.3

使用評価ソフト: CASBEE神戸ver.3/CASBEE-8D_NC_2016(v2.1)

評価結果

1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称)神戸市営東多聞台住宅建替	階数	地上10F
建設地	神戸市垂水区学が丘7丁目864-790	構造	RC造
用途地域	第一種中高層住居専用地域、第2種	平均居住人員	394人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760時間/年(想定値)
建物用途	集合住宅	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年6月 予定	評価の実施日	2018年4月3日
敷地面積	7,710 m ²	作成者	長谷工コーポレーション 大阪エ
建築面積	1,902 m ²	確認日	2018年4月5日
延床面積	11,326 m ²	確認者	長谷工コーポレーション 大阪エン지니어リング事業部 亀井門裕



2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

BEE = 3.1

2-2 ライフサイクルCO₂(温暖化影響チャート)

標準計算

2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

2-4 中項目の評価(バーチャート)

Q のスコア = 4.0

Q1 室内環境

Q1のスコア = 3.7

Q2 サービス性能

Q2のスコア = 3.7

Q3 室外環境(敷地内)

Q3のスコア = 4.8

LR 環境負荷低減性

LR のスコア = 4.0

LR1 エネルギー

LR1のスコア = 4.5

LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア = 3.5

LR3 敷地外環境

LR3のスコア = 3.8

3 CASBEE神戸の重要項目

バリアフリー計画	建築物の耐震性等	まちなみ・景観への配慮
Q-2/1.1.3 バリアフリー計画 4.0	Q-2/2.1 耐震・免震・制震・制振 3.0 Q-2/2.4 信頼性 3.0	Q-3/2. まちなみ・景観への配慮 5.0
配慮の概要 バリアフリー新法の建築物移動等円滑化基準(最低限のレベル)を満たしている。 また福祉のまちづくり条例第29条の規定に準拠し、共同住宅建築等届を行っている。	配慮の概要 建築基準法に定められた耐震性を有している。 地震時の部分的被害が全体機能の停止を引き起こさないような対策を行っている。	配慮の概要 神戸市都市景観条例第26条および神戸市都市景観条例施行規則第13条の3の規定に準拠し、景観建築届出を行い、許可されている。
その他の配慮事項		

■CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)
 ■Q: Quality (建築物の環境品質)、L: Load (建築物の環境負荷)、LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性)、BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)
 ■「ライフサイクルCO₂」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと
 ■評価対象のライフサイクルCO₂排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される